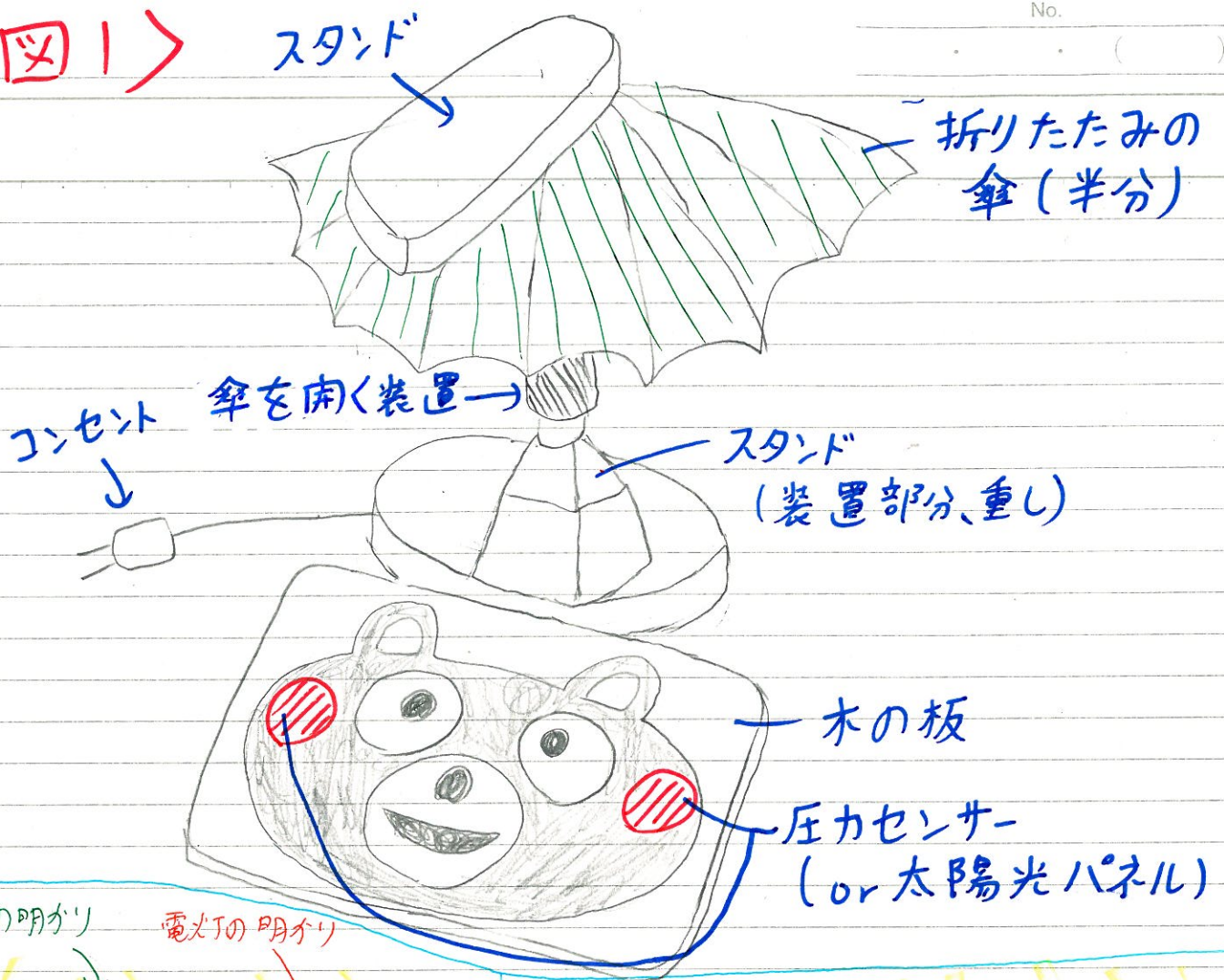


<図1>



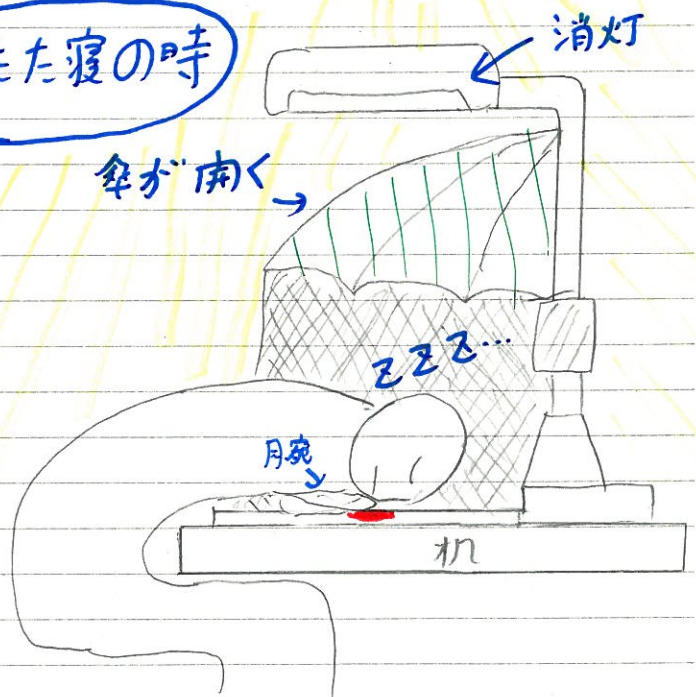
部屋の明かり

電灯の明かり

平常時



うたた寝の時



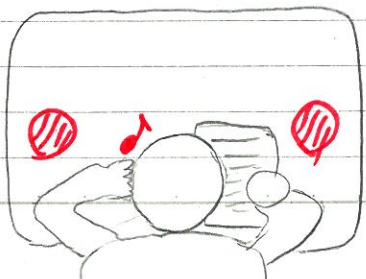
傘が開く

zzz...

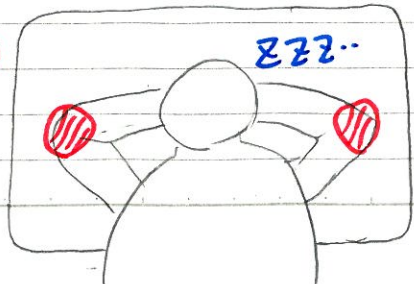
腕

机

<図2>



<図3>



ものクリチャレンジ 2012 アイデアコンテスト

工学部マテリアル工学科 2年 118t2710 片橋 匠

◆コンセプト（言葉自体は変えます）

頑張るあなたにも、頑張ったあなたにも、優しさを。

◆作品名（変えます）

「くまモン癒しの電気スタンド」

◆作品の概要

勉強や仕事などのデスクワークで、明かりとして用いる電気スタンドであるが、折りたたみ傘と圧力センサー（ソーラーパネル）がついている。作業中はスタンドとしての役割を果たすが、作業を頑張るあまり、ユーザーがいつい眠ってしまった時にはセンサーが反応して、スタンドの明かりが消えると同時に、折りたたみ傘が開き、部屋の光を遮断し、快適な眠りにいざなう。

ただのスタンドではなく、眠ってしまった時には、ユーザーをそっと、優しく、眠らせてあげる。そんな二面性（優しさ）を持った、新たな電気スタンドを、仕事や勉強(研究)を毎日頑張っているくまモン（ユーザー）へのプレゼントとして、提供したい。

◆詳しい説明

<図1>

作品は、勉強道具を置く木の板の部分と、傘付きスタンド台の2部で構成されている。

木の板の部分…くまモンの両方のほっぺの部分に、圧力センサー（ソーラーパネルに変えるかもしれません）が仕込んである。

傘付きスタンド台…コンセントから、外部の電力を取り込んで、スタンドを点灯させる。支柱には、改造した折りたたみ傘が取り付けられている。

傘は半分に切られていて、ユーザーが眠ってしまった時に、圧力センサー（または太陽光パネル）が反応し、傘が開く仕組みになっている。そのための装置も付いている。

<図2>

平常時は、勉強を頑張るユーザーのために、電気スタンドが付いている。

<図3>

ユーザーが眠ってしまった時、彼の腕のひじの部分が、くまモンのほっぺの圧力センサー（ソーラーパネル）を押す。すると、その信号がスタンド根元の装置に伝わり、折りたたみ傘が開くようになっていく。圧力センサーの代わりにソーラーパネルを採用した場合、ユーザーの腕が光を遮断することで、ユーザーが眠ったと判断し、信号を送る仕組みになっている。

どちらを採用するかはまだ未定なので、これから具体的な案を考えて、決定していきたい。

◆材料

木の板、折りたたみ傘、圧力センサー（ソーラーパネル）、スタンド（蛍光灯）、コンセントなど。センサーの信号を処理する装置や、傘を開く装置などは、製作が難しいと思われる。頑張りたい。